

表彰制度「JISA Awards」について

神山 茂（一般社団法人情報サービス産業協会）

一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)は昭和59年に設立された業界団体であり、日本を代表するシステムインテグレータや有力ソフトウェア企業、シンクタンクを中心とする主要な情報サービス企業より構成されています。現在、情報サービス産業は構造改革とITイノベーションにより知識集約型社会を実現し、我が国の国際競争力向上に貢献することにより業界地位を向上させ、業界ブランドを確立することを目指しています。そのためには、業界各社が切磋琢磨し独創的かつ国際的に通用する質の高い技術・ノウハウ・製品・ITサービスの創造に鋭意取り組んでいくことが重要になります。また、情報サービス企業が経営高度化を図りマネジメントシステム及び諸制度を改革しグローバルにその先進性を示すことにより、名実ともに魅力ある産業としての基盤を築いていくことも必要となります。このような認識のもと、JISAは広報・人材委員会（委員長：神山茂（JISA 副会長））が中心となり、上記のような取組を奨励・促進するとともにその成果を業界内外に示すことにより情報サービス産業の存在感と重要性を広く社会に情報発信していくための方策を検討し、平成23年に表彰制度「JISA Awards」を創設いたしました。

JISA Awards は、独創性が高く、国際的に通用するシステムの創造者（組織、チーム等含）を表彰します。選考にあたっては、①新規性、②進歩性、③発想の原点、④国際通用性の4点について応募内容を判断します。表彰対象は、「顧客に提供する情報サービス」もしくは「IT企業の経営の仕組み・制度」であり、前者ではビジネスモデル、開発・運用技術・ノウハウ、マネージメントの各側面のいずれか、後者では人事労務、財務、法務、CSRの各側面のいずれか、この中の少なくとも1つ（複数でも可）に該当するものとします。

平成23年8月よりJISA会員企業（団体会員傘下企業も含む）を対象に第1回目JISA Awardsの公募を開始しました。ご応募いただいた14件について選考委員会（委員長：坂村 健氏（東京大学大学院情報学環 教授））が書類選考を行い4件を最終候補として選出し、同年12月27日に開催された選考委員会において最終候補の中から受賞者を決定いたしました。

選考委員会の名簿は以下のとおりです（五十音順）。

委員長	坂村 健	東京大学大学院情報学環 教授
委員	青山 幹雄	南山大学情報理工学部 ソフトウェア工学科 教授
〃	土井美和子	株式会社東芝研究開発センター 首席技監
〃	仲田 雄作	独立行政法人 情報処理推進機構 理事
〃	夏野 剛	慶應義塾大学政策・メディア研究科 特別招聘教授

受賞者は以下の2件です。

○ SCSK 株式会社「PrimeCloud Controller」

自社で独自に開発した、ハイブリッドクラウドに対応したクラウド管理製品。パブリッククラウドとプライベートクラウドを統合管理でき、OS、ミドルウェアの設定や監視システムとの連動を自動で実現。

○ 株式会社NTT データ「Global One Team」

グローバル戦略の一環として、グローバル間のシナジー創出や事業体制の強化に向けて、グループ全体で共通するテーマごとにチームを立ち上げ、国内外のグループ企業の得意技やリソースを結集する取り組み。

デジタルプラクティス本号には PrimeCloudController に関連する招待論文が掲載されていますのでお目通しいただくと有難いです。なお、12月の選考委員会では上記の受賞者に加えて、下記の2件も最終候補として選考の対象に含まれていました。

○ SCSK 株式会社「CAMP クリケットワークショップ」

○ ヤマトシステム開発株式会社「社内便トレースサービス」

JISA は、平成24年度も更なる発展を期して JISA Awards2013 を実施しています。JISA Awards をきっかけに、今後、我が国でも国際的に通用する独創的な情報サービスや経営の仕組みが次々と創造されるようになることを願ってやみません。